

## KIS 国際物流ニュース！ (2019年4月号)

### 国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



#### 農林水産物・食品 輸出額1兆円に向けた取り組み

卵かけご飯をインドで提供する取り組みのニュースがありました。卵自体はインドでも貴重な栄養源として食されていますが、定番はゆで卵や卵焼き。生卵は生産や流通時の衛生管理の面や味が薄くおいしくないため流通量は少ないそうです。北陸の鶏卵企業がインドでも生産を始める計画とのこと。品質では現地商品と明らかな差があり、裕福層や中間層の需要が見込めるそうですが、物流網が最大の課題のようです。保冷車の数、道路事情（舗装されていない）といったインフラ課題が山積。それらを克服できれば、インドの食品産業の市場規模は、経済成長に人口増加が加味され年々拡大しており伸びしろが大いにあります。この鶏卵企業は現地生産を目指して環境、食文化の訴求まで取り組んでいます。これらが日本食に対してさらに日本の農作物の輸出に好影響をもたらすことは間違いありません。

農林水産省は、「平成30年農林水産物・食品の輸出実績」を取りまとめました。輸出額は9,068億円、前年比12.4%で増加し、6年連続で増加しました。平成31年度も海外市場成長、良質な日本品質、流通網の整備などの継続的な取り組みで目標達成に向かっていきます。

#### 中国 新エネルギー車販売 対前年比200%増加

中国の新エネルギー自動車の販売台数が7万4,667台となり前年同期比200%増加しました(2019年1月-2月)。中国自動車工業協会によると、自動車販売台数（工場出荷台数、2019年1月-2月累計）は385万台強ですので、新エネルギー車の占める割合は2%にすぎません。しかし新エネルギー車の飛躍的増加は中国の消費の全面的バージョンアップの一つの側面にすぎません。というのは、中国は消費の新たな成長源を積極的に育てる方針で、グリーン商品（省エネ、環境保護、低炭素など）やスマートホーム、ウェアラブル機器などの新興情報消費を育成拡大と奨励・誘導するとのこと。地方政府による新エネルギー車に対する購入支援や通行の利便性への支援など、政府と地方、ハードとソフトなどあらゆる面から一体となった支援が行われていきます。

#### 事前案内 海貨・通関業者向け 情報管理とRPA連携セミナー（仮題）

4月から働き方改革の取り組みが本格化しています。情報の活用がその鍵となります。情報の一元管理で二重管理による作業やミスの削減、RPAやOCRを活用し登録作業の効率向上、さらに従業員がより付加価値の高い業務に従事できるようデータエントリーの安全な業務委託も紹介します。

主催：日本電気株式会社（NEC）

関西総合システム株式会社

大阪：2019年5月29日(水)

東京：2019年6月12日(水)

対象：海貨・通貨業者の営業部門、業務部門

情報システム部門の方